

帯広市立栄小学校 学校便り

さかえ



令和7年2月28日発行

【令和6年度学校経営の重点】

**一人一人が成長を実感し
笑顔あふれる栄小学校**

～質の高い日常実践を通して～

【キャッチフレーズ（児童）】

**「あたり前のことが
あたり前にできる 栄っ子」**

～記録的な大雪～ 登下校の安全に向けたご協力 ありがとうございます！

2月4日（火）にかけて記録的な大雪が降り、交通機関が麻痺をしてしまう状況となりました。学校は、2月4日（火）から6日（木）までの3日間の臨時休業となりました。7日（金）も給食の配送が難しいため3時間授業となりました。その後も帯広市では、懸命な除排雪作業を進めていただきましたが、通学路は危険な状態が続いていました。地域・保護者の皆さまが、子ども達のために小径を開けてくださり安全な通路を確保してくださいました。また、多くの方が危険箇所立ってください、子ども達の安全を見守ってくださいました。子ども達と一緒に通学路を歩いてくださった方もいました。多くの方々にご協力をいただき、子ども達の安全を見守ってくださいました。学校においても教職員が毎日交代で危険箇所立ったり、通学路の歩道の除雪を行ったりしました。学校は、地域・保護者の皆さまと協力して、子ども達の安全を見守る取組を進めることができました。本当にありがとうございます。しかし、まだまだ、冬道の危険な状態は続いています。これからも子ども達の見守り活動に向けたご理解とご協力をお願いいたします。



図書ボランティアの皆様 ありがとうございます！

2月12日（水）に2回目の図書ボランティア打合せ会議が開催されました。普段からお世話になっている図書ボランティアの皆様にお集まりいただきました。今年度も使いやすい図書館の環境整備に向けた取組、読み聞かせの取組など、子ども達が少しでも読書に親しむことができるように様々な工夫をしてくださいました。本校の図書館はいつも整理がされていて、季節に応じた飾りつけもしていただいています。新刊図書の登録も早い時期に行っていただいています。読み聞かせは、今年度も一年間を通して全学年にわたって取組を進めていただきました。子ども達に少しでも楽しんでもらえるように、学年の発達段階に応じた本を選んだり、読み聞かせのための練習を積み重ねていただいたりしています。子ども達もボランティアの方々の思いに応えるように真剣に聞く様子が見られます。その成果が普段の朝の読書活動の姿などにも繋がっています。子ども達は集中して読書に取り組むようになってきています。図書ボランティアのみな様、ありがとうございます。



ロイロノートで明和小学校と交流しました！ ～2年生～

クロームブックを活用した学習が学年の発達段階に応じて効果的に進められていることを強く感じています。1月30日（木）2年生において、明和小学校2年生の児童と交流する学習がありました。2年生はロイロノートというアプリを学習で活用しています。自分の考えを上手にまとめ、その画面をクラス全体で共有することにより、考えを交流することができます。この日はその発展として、他校の児童と交流する学習でした。楽しそうに取り組む様子から、ICT学習の可能性を強く感じた場面でした。



「栄小学校児童会を少しでも良くしていきたい」 ～児童会選挙の取組～

2月12日（水）の5校時に児童会役員にかかわる立会演説会・児童会選挙の取組がありました。大雪のための臨時休業が3日間ありましたので、選挙活動の時間は限られていましたが、仲間と協力しながら主体的に活動する姿が見られました。今年度の児童会活動は、現6年生が中心となり、他学年との交流など、児童自らが「栄小学校を良い学校にしていこう」とするたくさんの試みが見られました。そして、いよいよ5年生・4年生が引き継ぐ時期となりました。立会演説会では、栄小学校が楽しく、仲のよい学校になるように様々なアイデアが出されました。学校を良くしていきたいと決意したその気持ちが素晴らしいと感じています。今回出された様々なアイデアは、是非、次年度の取組に繋げてほしいと願っています。



そりすべりを楽しんでできました！ ～1年生生活科から～

1月29日（水）の午前中、1年生は生活科の学習でグリーンパークに行ってきました。当初は、氷祭りに展示する氷のお面を搬入する予定でしたが、午前中はかろうじてマイナスになるものの、午後からはプラスになってしまう高い気温の予報となっていたため、氷のお面は搬入することができませんでした。そのかわり、氷祭りの会場設営の様子を見学し、そり滑り体験を楽しむことができました。その時期は、降雪量がほとんどなく、学校の築山にはほとんど雪がない状態でした。ですが、グリーンパークの大きな築山には、たくさんの雪がありました。1年生の子ども達は楽しそうに何度も手作りのそりで滑り降りる姿が見られました。まさに帯広の冬を楽しむ活動であったと思います。満面の笑顔で活動する子ども達の姿が印象的でした。氷のお面は、2月中旬に作製し校舎北側に展示しました。こちらもたいへん上手にできあがりしました。



6年生のみなさんが考えたスペシャルスープが給食のメニューになりました！

今年度も6年生「おび学（つながる食育）」の学習で、本校の三津田栄養教諭が指導にあたり、帯広市の給食で出されるメニューについて考える取組を行いました。6年生はグループに分かれて、栄養のバランスや彩り、食材などを工夫したメニューを考えました。どのグループも食材の使い方や栄養のバランスなどよく考え、どれも採用してほしいと思ってしまうメニューばかりでした。その中でも今年度は、1組、2組それぞれ1グループずつの案が給食のメニューに採用されました。まず、1月21日（火）に6年2組6班が考えた「かえてきたもっちもっちわんわんスープ」が提供されました。ワンタン、じゃがいも、豚肉などを食材としたクラスみんなが大好きなスープをアレンジしています。1月30日（木）には、6年1組3班が考えた「げんきハツラツ!! 7しゅのパワー!! コンソメスープ」が提供されました。5大栄養素をしっかりと取り入れた見た目にも楽しい元気が出そうなスープです。給食の時間に、放送で、6年生が考えてくれたことを紹介しました。「おいしい」という感想がたくさんの子供たちから寄せられました。このスープは帯広市の全小中学校の児童生徒に提供されました。給食が身近に感じる「おび学」の取組でした。



